

深い山奥にどんな難問にも答えてくれる仙人がいる
「お母さんの目を治す方法を聞いて来る！」と小東は旅に出た
途中で困っている人たちに会うと答えを聞いてくると約束して

せんじん
仙人のくれた答えは三つの知恵袋
聞きたいことは四つなのに…



ばんび人形劇場・第19回作品 昔話「仙人のおしえ」より

せん に ん

ち え ぶくろ

仙人の知恵袋

「はるかな昔、仙人と呼ばれる不思議な人が、深い山奥で漬を
食べて暮らしていたそうです」

ある村にとでも貧しいけれど、仲の良い親子が二人で暮らして
いました。お母さんは病氣のために目が見えません。息子の
小東（シャオトン）は、まだ体も小さいし、おまけにちやつと
気も小さいけれど、とてもお母さんを大切にしている、なんと
か目を治してあげたいと思っていました。でも、小東の働きでは、
その目のご飯がどうにか食べられるくらいで、とてもお医者様に
診てもらうことも、薬を買うことも出来ませんでした。ある
時小東は、どんなに難しい質問にも答えてくれる仙人が、山の
奥に住んでいるという話を耳にしました。仙人に会って、目を
治す方法を聞いて来る。小東はそう決心して、仙人を探す旅に
出ました。

小東が村はずれまで来ると、長者様の家で、何か重苦しい気
配がただよっていました。長者様の一人娘が重い病気で、名高
いお医者様でも治すことが出来ないというのです。長者様は小
東が仙人の所へ行くのを聞いて、ぜひ、娘の病気を治す方法を聞
いてきてくれと頼みました。小東は必ず答えを聞いてくると約
束して、山奥を目指しました。

小東が山奥の一軒家まで来ると、中から火のついたような赤
ん坊の泣き声が聞こえるではありませんか。そつとのぞいてみ

ばんび人形劇場・第19回作品 昔話「仙人のおしえ」より

せん に ん

ち え ぶくろ

仙人の知恵袋

作／市川洋子 演出・美術／幾田美恵子 音楽／西尾賢 監修／大久保一康



ときめきいっぱい、夢いっぱい!

何とがびだすか、わくわくドキドキの「ばんび人形劇場」。
人形劇の楽しさを、もっともっと身近で見て頂けるよう、
皆様のところへお伺いしております。
ベルが鳴ったら、いつもの部屋がおとぎの世界に大変身。
さあ、「ばんび人形劇場」の開幕です。

◆人形劇団「ばんび」のあゆみ

1953年、中学校の人形劇クラブとして誕生。20年のアマチュア活動
の末、1972年、愛知県豊橋市で専門劇団としてスタート。8年間に
わたって保育園・幼稚園・西ヨーロッパなどを巡演するが、人手不足
のため活動を休止。充電の後、1989年に活動を再開する。テンポあ
るアイデア一杯の舞台が自慢です。

上演の手引き

- 会場に特別なステージは必要ありません。
- 舞台には間口6.0m×奥行5.5m×高さ2.5m位のスペースが必要です。
- 上演に必要な機材はすべて車で搬入します。
- 電気の容量は20A(アンペア)程必要です。
- 上演効果を上げるため暗幕が必要です。
- 上演時間は約1時間で、準備に90分、片付けは60分程かかります。
- 1回の定員は250名位までが適当です。
- 料金は観客数、距離によって多少異なりますのでご相談下さい。
- ご予約はお早めに…。

■お問い合わせ・お申し込みは

〒4418032 豊橋市花中町41-2
TEL.0532-32-9981 FAX.0532-32-2443
e-mail bambi.ba@nifty.com
http://homepage2.nifty.com/bambi_pc/

人形劇団
ばんび
PUPPET CIRCUS BAMBI

お問い合わせ
お申込みは

人形劇団
ばんび
PUPPET CIRCUS BAMBI

〒441-8032 豊橋市花中町41-2 TEL.0532-32-9981 FAX.0532-32-2443 e-mail bambi.ba@nifty.com http://homepage2.nifty.com/bambi_pc/